

平成 28 年 9 月 1 日

**脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたは御家族の方へ（臨床研究に関する情報）**

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常の診療上の検査データを用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ガンマナイフ治療を行った転移性脳腫瘍例のデータベースを基にした臨床統計学的検討

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター

【研究組織】 (◎ 研究責任者)

◎ 糟谷英俊	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	教授
笹原 篤	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	講師
萩原信司	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	助教
大淵英徳	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	助教

【研究の目的】

ガンマナイフ治療を受けられた転移性脳腫瘍の患者さんのガンマナイフの腫瘍に対する効果を検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1998年から2015年12月31日までに東京女子医科大学東医療センター脳神経外科に、転移性脳腫瘍でかかれ、勝田病院水戸ガンマハウスでガンマナイフ治療を受けた患者さん

●利用する検査結果およびカルテ情報

すでにデータベース化した以下の項目：MRI、CT画像、カルテ情報（診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、治療内容、患者状態、経過など）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することを御了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問合せ先】

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 担当医師 糟谷英俊

電話 03-3810-1111 (6135) FAX 03-3819-8680

平成 28 年 5 月 14 日

東京女子医科大学病院に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 抗菌薬適正使用ならびに手指衛生と耐性菌発生に関連性に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 感染症科

【研究責任者】 菊池 賢 感染症科 教授

【研究の目的】

抗生物質が効かない耐性菌が大きな問題となっています。これらは抗生物質や手指消毒薬を適正に使用することや、感染対策を行うことによって抑制できる可能性があります。各施設の耐性菌の出現状況や抗生物質が使われている状況、感染対策を行う人員・業務状況を調査することで、より耐性菌を出現させない医療環境のあり方について検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

入院された患者さんで、2015 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日の間に細菌検査を行われ薬剤耐性菌を検出した患者さん

●利用するカルテ情報

細菌検査結果のみ使用いたします。個人が同定できる項目は一切使用致しません。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は一切用いることはありません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 感染症科 電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-8995

担当医師 菊池 賢、吉田 敦、井口成一

平成 27 年 4 月 27 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 不整脈原性右室心筋症（ARVC/D）の予後調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器内科

〔研究責任者〕 循環器内科 主任教授 萩原誠久

〔研究の目的〕 ARVC の患者の予後について知ること

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1974 年から 2013 年の間に当院で不整脈原性右室心筋症（ARVC/D）と診断された、もしくはその疑いの患者さん

●利用するカルテ情報

当院に受診された際の年齢、性別、検査結果、画像検査結果、治療内容、病歴、家族歴についての情報

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 菊池規子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 8 月 25 日

東京女子医科大学病院に過去に通院・入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 当院における 10 年間の血液培養結果集計

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院中央検査部

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島眞

〔研究の目的〕

検査室に提出された血液培養検査結果を集計し、約 10 年間ににおける検体数の推移と、検出された菌種の内訳、および診療科別の検出菌、薬剤感受性について検討する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2004 年 1 月 1 日から平成 2015 年 12 月 31 日の間に血液培養検査を受けた方

●利用するカルテ情報

血液培養検査結果

(陽性/陰性、検出された菌名、感受性検査結果、提出検体数、診療科)

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部

後藤亜江子

電話 03-3353-8111

内線 35034

平成 28 年 7 月 9 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 乾癬性関節炎における画像評価法の検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

[研究の目的]

乾癬性関節炎の適切な診断・治療のため、画像評価法について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乾癬性関節炎の患者さんで、昭和 60 年 1 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日の間に膠原病リウマチ痛風センターの治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）、治療内容、合併症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

電話 03-5269-1711

担当医師 市川奈緒美

平成 28 年 7 月 11 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 日本人痛風の実態についての研究

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

[研究の目的]

日本人痛風の臨床像を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

痛風の患者さんで、2007 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に膠原病リウマチ痛風センターの治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族歴、既往歴、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）、治療内容、合併症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 谷口 敦夫

電話 03-5269-1711

平成 28 年 5 月 23 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対するチロシンキナーゼインヒビター治療において、血液型は予後予測因子として有用か？

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

ABO 式血液型は赤血球の表面にある糖鎖抗原の違いを利用した血液の分類法ですが、近年、膀胱癌をはじめとするさまざまな悪性腫瘍を有する患者さんにおける予後予測因子としての有用性が示唆されています。一方、腎癌、特に転移性腎癌における ABO 式血液型の予後予測因子としての有用性はまだわかっていません。現在、転移性腎癌に対する治療の第一選択は分子標的治療であり、今回この研究において我々は、一次治療としてチロシンキナーゼインヒビター投与を受けた転移性腎癌を有する患者さんにおける、ABO 式血液型の予後予測因子としての有用性を検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2008 年 1 月 1 日から 2016 年 5 月 31 日の間にチロシンキナーゼインヒビター治療を受けた方

●利用するカルテ情報

チロシンキナーゼインヒビター治療開始時の年齢、性別、腎癌の組織型、MSKCC risk (転移性腎癌の予後予測に用いられる)、腎摘手術の有無、転移臓器の数、全生存期間 (チロシンキナーゼインヒビター治療開始から死亡するまでの期間)、無増悪期間 (チロシンキナーゼインヒビター治療開始から腫瘍増悪までの期間) など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 大前憲史 電話 03-3353-8111 (内線
36441) FAX 03-3356-0293

平成 28 年 5 月 1 日

血液浄化療法科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 透析患者における PAD^{※1} 関連データを用いた適正な血流評価及び PAD 重症化予防法の構築

※1 末梢の動脈が硬くなったり、狭くなったり、詰まってしまう病気のことです。

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液浄化療法科

【研究責任者】 東京女子医科大学 血液浄化療法科 教授 土谷 健

【研究の目的】

下肢の動脈硬化を早期に発見するための方法を発見するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

慢性腎臓病の患者さんで平成 18 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に人工透析の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

①患者基本情報：年齢、性別、診断名、血液浄化治療条件、腎不全関連データ

②PAD 検査データ：理学所見（触診）、ABI、SPP、TBI、PI、エコー検査結果、体組成成分量検査、レーザー血流計値、血液検査データ

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液浄化療法科 担当医師 土谷 健 教授

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7368

平成 28 年 5 月 26 日

脳神経外科外来および救急外来に通院中（または今後入院する予定のある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた医療記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 頭部外傷データベース One Week Study

[研究機関] 東京女子医科大学病院脳神経外科

[研究責任者] 東京女子医科大学 脳神経外科 教授・講座主任 川俣 貴一

[研究の目的]

頭部外傷入院症例の、年齢・性別・受傷機転・診断・治療方法・患者転帰の疫学的検討を行い、これらの結果を社会に発信することにより、頭部外傷の予防に役立てます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2016 年 6 月 6 日～2016 年 6 月 12 日の期間に入院となった頭部外傷症例の患者さん
※慢性硬膜下血腫入院症例を除く

●利用するカルテ情報

年齢・性別・受傷年月日・受傷原因・飲酒の有無・搬入時の神経学的所見・CT 上の異常所見・多発外傷の有無・内科的/外科的治療内容・転帰など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、受診前に以下までご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科 担当医師 富永 禎弼

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7438

平成 28 年 4 月 15 日

乳腺・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 乳癌脳転移症例の臨床病理学的因子と予後に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院八千代医療センター 乳腺・内分泌外科

[研究責任者] 八千代医療センター乳腺・内分泌外科 診療科長 清水忠夫

[研究の目的]

乳癌の脳転移症例の予後に影響する因子について検討するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳癌による脳転移がある患者さんで、平成 20 年 6 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に乳癌の治療を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、CT、MRI、病理組織学的検査）、治療法、治療法による効果、予後

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院乳腺・内分泌外科

担当医師 地曳 典恵

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成28年6月23日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 急性期血行再建術後における出血と造影剤鑑別の検討
[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター 画像検査室
[研究責任者] 新井田 達雄
東京女子医科大学八千代医療センター 院長

[研究の目的]

当院は、急性期脳梗塞に対し血管内治療において血行再建術を行っております。血管内治療では造影剤を使用して治療を行います。治療直後、稀に脳出血が生じることがあり、出血と造影剤の鑑別が困難な場合があります。当院のCTには出血と造影剤を鑑別するアプリケーションソフトが搭載されております。本研究では、このソフトを使用することで、血管内治療直後の出血における診断能の向上を目的としております。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん
脳神経外科で通院された患者さんで、平成26年12月31日から平成27年12月31日の間に急性期脳梗塞で血管内治療を受けた方
- 利用するカルテ情報
診断名、年齢、性別、CT画像

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学八千代医療センター 画像検査室 診療放射線技師 福田 幸太郎
電話 047-450-6000 (内線番号: 2152)

平成 28 年 6 月 6 日

脳神経外科に通院・入院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脳脊髄腫瘍に関する各種因子と予後に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科

[研究責任者] 川島明次 東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科 准教授

[研究の目的] 脳脊髄腫瘍に関する各種因子（年齢、種類、治療効果など）と予後（再発の有無など）がどのように関連しているかを調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脳脊髄腫瘍の患者さんで、平成 12 年 1 月から平成 28 年 3 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査、生理学的検査、リハビリ検査）、治療内容と治療時期

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科

担当医師 川島明次

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 28 年 1 月 25 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 冠血行再建術後の Bland-White-Garland 症候群患者における妊娠・出産による心機能への影響

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

【研究の目的】 Bland-White-Garland 症候群(左冠動脈肺動脈起始症)の冠血行再建術後における妊娠出産による血行動態への影響や分娩方法の選択について検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

Bland-White-Garland 症候群(左冠動脈肺動脈起始症)の手術歴がある患者さんで、昭和 58 年 1 月 1 日から平成 27 年 11 月 1 日の間に当院で出産歴のある女性とその児

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学的検査）、手術内容、妊娠出産に関する情報：妊娠週数・分娩方法・周産期合併症、児に関する情報：出生体重・Apgar score。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 狩野 実希

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 7 月 7 日

産婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめ、診療時に採取・保管された病理検体を再検討することによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 好ましからざる転帰をとった子宮頸部微小浸潤扁平上皮癌の症例対照研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター産婦人科

〔研究責任者〕 東医療センター産婦人科 教授・高木 耕一郎

〔研究の目的〕 子宮頸部微小浸潤癌における臨床的意義を正確に反映する病理学的パラメーターを抽出し、子宮頸部微小浸潤癌の病理学的診断基準を再検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1997 年から 2010 年に初回治療として手術療法が行われた子宮頸部扁平上皮癌 IA 期に該当する患者さん

●利用するカルテ情報、検体

患者背景、術前病理診断、手術術式、術後病理診断、術後進行期分類、病理所見、術後補助療法の有無と内容、再発の有無、再発確認日、初回再発部位、最終患者診察日、および診療時に採取・保管された病理検体

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報、検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター産婦人科

担当医師 長野浩明

電話 03-3810-1111 FAX 03-38004786

平成 28 年 6 月 9 日

救命医療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 新しい持続的血液濾過膜 SepXiris の臨床評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

[研究責任者] 東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 救命救急センター長代行
糟谷英俊

[研究の目的]

2014 年 7 月より新しく保険収載された SepXiris について臨床評価、膜の交換時間および生命予後について従来膜と比較検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2015 年 10 月 31 日の期間において東京女子医科大学東医療センター救命救急センターまたは集中治療室に滞在し持続的血液浄化療法を実施した患者。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）、バイタルサイン、血液浄化記録。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター 脳神経外科 救命救急センター長代行
担当医師 糟谷英俊

電話 03-3810-1111

平成 28 年 6 月 9 日

救命医療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 持続的血液濾過透析（CHDF）膜が血小板に及ぼす影響についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

[研究責任者] 東京女子医科大学東医療センター脳神経外科教授 救命救急センター長代行
糟谷英俊

[研究の目的]

持続的血液濾過透析（CHDF）実施時による血小板数への影響について膜別に検討し、明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2015 年 10 月 31 日の期間において東京女子医科大学東医療センター救命救急センターまたは集中治療室にて持続的血液濾過透析（CHDF）を実施した患者。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）、バイタルサイン、血液浄化記録。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター 脳神経外科 救命救急センター長代行
担当医師 糟谷英俊

電話 03-3810-1111

平成 28 年 6 月 8 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 根治的前立腺摘除術後に対する放射線治療の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

【研究責任者】 唐澤 久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 （教授）

【研究の目的】 根治的前立腺摘除術後に対する放射線治療の効果と有害事象を検討し、今後の治療方針の指針とする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2005 年から 2014 年までの間に東京女子医科大学放射線腫瘍科で根治的前立腺摘除術後に対する放射線治療を施行した方。

●利用するカルテ情報

年齢、診断名、病理組織、血液検査、治療内容、再発の有無、無病期間、観察期間、生存の有無、画像検査

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成28年8月1日

患者様・ご家族様へ

後方視的研究へのご協力をお願い

眼科では、過去に下記のような診療を受けていただいた患者様のデータを用いた臨床研究を行います。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究課題名：糖尿病黄斑浮腫患者に対する治療実態の疫学調査

研究目的：上記の治療および予後の実態を全国調査する

研究概要：糖尿病黄斑浮腫に対する治療は、現在、最新かつ効果的な治療法とされる VEGF 阻害薬の硝子体注射（眼球に注射）が第一選択とされていますが、効果不十分な症例には光凝固や硝子体手術、ステロイドの眼球への注射という従来の治療もおこなわれており、その治療選択については施設によってまちまちです。そこで、現在我が国では糖尿病黄斑浮腫にどのような治療が選択され、どの程度改善（悪化）しているかを全国規模で調査をおこないます。

対象となる患者様

2011 年 4 月 1 日～2014 年 6 月 30 日に当科において糖尿病黄斑浮腫と診断され、当施設で始めて治療を開始され、その後 2 年間以上当施設で診療を受けられた方。

公示期間

2016年8月1日 ～2017年3月31日

研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者様のデータを使用させていただきます。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。本研究への参加は患者さまの自由意思であり、参加の辞退を希望されても患者様が不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、上記の公示期間内に下記の担当医師へご連絡下さい。なお、公示期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。

いつでも相談窓口(担当医師)にご相談下さい。

東京女子医科大学糖尿病センター眼科

電話番号 03-3353-8111（代表）

担当医師：北野滋彦

作成日：平成28年07月13日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中
または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 強直性脊椎炎に関連する疫学研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿、膠原病リウマチ痛風センター、教授

[研究の目的] 強直性脊椎炎に関連する診断、症状・所見、治療について検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成4年度から平成28年7月迄に膠原病リウマチ痛風センターにて診療録を作成された強直性脊椎炎をはじめとする脊椎関節症の方

●利用するカルテ情報

個人情報を除く全カルテ情報：

診断名、年齢、性別、全病歴、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、髄液検査、画像検査、生理学的検査、生体検査、病理検査）、文書

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町10-22

東京女子医科大学病院附属膠原病リウマチ痛風センター 担当医師 小橋川 剛

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 7 月 16 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児に対する経静脈的ペースマーカリード植込みの成績

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三 循環器小児科 准教授、診療部長

[研究の目的] 小児に対する経静脈的ペースメーカー植込みの成績を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1991 年 1 月から 2016 年 5 月までの間にペースメーカー植込みの治療を受けた 18 歳未満の方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、ペースメーカー本体およびリード情報、合併症の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 竹内 大二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 6 月 15 日

母子総合医療センター新生児医学科に過去に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「当院における甲状腺刺激ホルモン遅発上昇型先天性甲状腺機能低下症の臨床的特徴に関する研究」

[研究機関] 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科

[研究責任者] 楠田 聡 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科 教授

[研究の目的] 甲状腺刺激ホルモン遅発上昇型の先天性甲状腺機能低下症を呈した患者さんを後方視的に検討し、早期診断に有益な臨床的特徴を明らかにすることです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

TSH 遅発上昇型の先天性甲状腺機能低下症の患者さんで、平成 19 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に出生して NICU に入院した患者さん

●利用するカルテ情報

- ① 基礎的臨床像（在胎週数、出生体重、性別、アプガースコア、診断名、併用薬剤名、分娩様式、母体基礎疾患、妊娠合併症）
- ② 甲状腺機能検査（TSH、FT4 値）
- ③ レボチロキシナトリウム（L-T4）投与量、投与開始日齢、中止日齢

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科

担当医師 内山 温

電話 03-3353-8111(内線 35313) FAX 03-5269-7668

平成 28 年 5 月 30 日

東京女子医科大学医学部看護学部学生さんへ

-研究に関する情報および研究に対するご協力をお願い-

本学では、以下の研究を実施しております。この研究は、通常の活動で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 女子医学看護学生の精神健康度と健康管理室受診動向について

【研究機関】 東京女子医科大学保健管理センター学生健康管理室

【研究責任者】 教授 内田啓子

【研究の目的】

健診時の精神健康度の自記式質問紙の結果が、本人の学生健康管理室利用に効果があるかどうかを確認するため

【研究の方法】

●対象となる学生

2015 年度在籍して、健診データの 2 次利用の包括的同意が得られた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、検査結果、学生健康管理室利用歴、質問紙結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、学生さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も学生さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学保健管理センター学生健康管理室

担当医師 横田仁子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7378

平成26年6月17日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録と手術で得られた病理組織切片を見直し、まとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕「胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管癌に関する日韓共同研究」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

日本胆道学会、韓国胆膵学会、韓国肝胆膵外科による日韓合同大規模データ集計に症例を登録し、胆管内乳頭状腫瘍(IPNB)、粘液性嚢胞性腫瘍(MCN)の病態を明らかにする

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1980年1月1日以降に東京女子医科大学 消化器外科において、IPNB、MCN、乳頭型胆管癌に対して治療を受けた方約80名を研究対象とします。

胆管内乳頭状腫瘍、肝嚢胞性腫瘍の患者さんで、1980年1月1日以降に外科治療を受けた方

●利用するカルテ情報

①病院名、②術前診断名、③性別、④年齢、⑤身長、⑥体重、⑦喫煙の有無、⑧飲酒の有無、⑨CEA、10 CA19-9、11 DUPAN-2、13 WBC、14 RBC、15 Plt、16 Hb、17 ALT、18 AST、19 LDH、20 γ -GTP、21 ALP、22 T-bil、23 D-bil、24 CRP、25 TG、26 Tcho、27 胆管内乳頭状腫瘍、28 粘液性嚢胞性腫瘍、29 嚢胞性病変の局在、30 最大径、31 嚢胞と胆管の交通所見、32 手術日付、33 術式、34 リンパ節転移、35 門脈浸潤、36 肝静脈浸潤、37 肝動脈浸潤、38 胆管浸潤、39 肝側および十二指腸側胆管断端所見、40 再発日時、41 診断確定日、42 死亡日時、43 職業歴、44 肝機能障害、45 黄疸、46 発熱、47 腹痛、48 スクリーニングで発見、49 HBV、50 HCV、51 糖尿病、52 肝吸虫、53 膵・胆管合流異常、54 原発性硬化性胆管炎、55 原発性胆汁性肝硬変、56 胆嚢結石、57 胆管結石、58 肝内結石、59 胆道癌、60 消化器癌、61 他癌、62 IPNB 分類、63 部位、64 胆管拡張、65 隔壁、66 隆起性病変、67 隆起高さ、68 粘液、69 嚢胞と胆管の交通、70 胆管切除、71 組織型、72 Ovarian stroma、73 Phenotypes、74 再発部位、75 転帰、76 予後確認日
病理組織切片を観察し直し所見を得る。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除し

ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報はありません。

*上記の研究にて、カルテ情報や手術で得られた病理組織切片を見直すことに関してご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 5 月 18 日

雲柱社の運営する保育園に通園中（または過去に通園されたことのある）の
園児さんまたはご家族の方へ

～疫学研究に関する情報および疫学研究に対するご協力をお願い～

当社では、以下の疫学研究を実施しております。この研究は、通常の保育で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 子育て支援のための保育園児の病欠頻度に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学

[研究責任者] 東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学（一）教室 教授 松岡雅人

[研究の目的]

男女が共に就労する中で安心して子育てができる環境を整備するために、保育園の欠席の実態を調査し、子どもの年齢（入園期間）に応じた保護者の看護休暇の在り方等を検討するため。

[研究の方法]

●対象となる園児さん

平成 23 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に当社の運営する保育園に通園された方

●利用する情報

①年齢 ②性別 ③入園期間 ④病欠欠席日数

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、園児さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も園児さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学衛生学公衆衛生学（一）教室 担当者 野原理子

電話 03-3353-8112 内線 22912 FAX 03-5269-7419

平成 28 年 5 月 1 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 補助循環治療施行患者の臨床的課題、管理法に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

補助循環治療を受けられた患者の臨床上的課題とその対策、管理法などについて検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 3 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に、補助循環治療を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、補助循環治療の内容、治療中および治療前後における身体所見、検査結果（血液検査などの検体検査、各種画像検査、循環機能などの身体機能検査、超音波検査、心電図検査、精神状態検査、心臓カテーテル検査など）、診療経過などを含むカルテに記載されている情報とします（他院から診療情報提供された情報も含みます）。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 西中 知博

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 4 月 20 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 前立腺全摘術における切除断端陽性となる術前因子についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院泌尿器科

[研究責任者] 泌尿器科 臨床教授 石田英樹

[研究の目的]

前立腺癌に対する手術の治療効果および術前検査の有用性について調査するため

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

前立腺癌の患者さんで 2011 年 8 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の間に前立腺全摘術を受けた方

● 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、摘出標本の病理結果）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科

担当医師 飯塚淳平

電話 03-3353-8111

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に入院または通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査後に残った検体(残余検体)を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 次世代全自動免疫測定装置に関する評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院 中央検査部

[研究責任者] 川島 眞 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長

[研究の目的] 血中または尿中の微量成分を測定する新しい検査機器および試薬が、現在病院で使用している検査機器・試薬と比較して、同じように正確な検査ができるかどうかを確認するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成○年○月○日から平成 29 年 12 月 31 日の間に、診療のために血液や尿を取って測定された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液または尿（検査で測定した後の残余）

カルテ情報：年齢、性別、血液および尿検査結果、検査時の測定結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、測定依頼があった検査測定後、どなたの検体か判らないようにした残余検体を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112 (内線 38215)

平成 28 年 7 月 ● 日

東京女子医大病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、臨床検査に用いた残余の検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

全自動免疫測定装置「HISCL-5000」を用いた「HISCL トロポニン T hs 試薬」の
基礎的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院

〔研究責任者〕 川島 眞 中央検査部 運営部長

〔研究の目的〕

心臓の機能を診療する際に用いられる検査項目「トロポニン T」の検査試薬が開発されたため、現在使用している他の試薬と同じ性能があるかを確認します。この研究はシスメックス株式会社との共同研究で行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さんの検体

平成 28 年 3 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日の間に診療の際にトロポニン T の検査依頼があった患者さんの検体

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液 トロポニン T の検査後の残余血清

カルテ情報： 診断名 検査結果 投薬情報 年齢 性別

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8111 (代) FAX 03-5269-4769

平成 28 年 8 月 8 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診断用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] マルフアン症候群合併気胸の胸膜変化についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第一外科

[研究責任者] 神崎正人、東京女子医科大学第一外科、准教授

[研究の目的]

MFS 合併気胸の臨床・病理学的特徴をとらえるため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

マルファン症候群の患者さんで、平成 3 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に手術に際し切除肺組織の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：切除標本プレパラート

カルテ情報：診断名、年齢、性別、合併疾患、身体所見、検査結果（画像検査、心エコー検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 松本卓子

電話 03-5269-7333 FAX 03-5269-7333

平成 28 年 8 月 1 日

東京女子医大女子医大附属成人医学センターで健診をお受けになった方
またはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 高齢耐糖能異常者の糖尿病発症率に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属成人医学センター

[研究責任者] 三坂 亮一

[研究の目的]

高齢者の糖尿病発症率およびその危険因子を調査するため

[研究の方法]

●対象となる方

2007 年 1 月 1 日から 2007 年 6 月 30 日の間に健診を受けた方で当時 65 歳以上の方

●利用するカルテ情報

年齢、性、BMI、腹囲、空腹時血糖値、HbA1c 値、HOMA-R、LDL コレステロール、HDL コレステロール、non HDL コレステロール、中性脂肪、尿酸値、AST、ALT、 γ -GTP、eGFR、血圧、高感度 CRP、スタチンの使用歴、虚血性心疾患の既往、脳梗塞の既往

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区渋谷区渋谷 2 - 15 - 1 渋谷クロスタワー

東京女子医科大学附属成人医学センター 担当医師 宇治原典子

電話 03 - 3499 - 1911 (代表) FAX 03- 3486 - 6993

東京女子医科大学における女性外来の実態調査研究に関するお知らせ

平成 26 年 7 月 4 日

2016年、春の国会に女性の包括的健康支援に関する法案が国会に提出されるなど、女性に対する健康支援が注目されています。そのためには、近い将来、複数の診療科が連携した女性の診療体制を作ることが重要とされていますが、そのたたき台となるような実態調査はまだ少ないのが現状です。

東京女子医科大学は、2004年からすでにこの多診療科連携型女性外来に率先して取り組んで参りました。女性生涯健康センター、東医療センター日暮里クリニック女性外来、八千代医療センター女性科外来で女性を中心に据えた外来を開催し、女性のメンタルケアの重要性や月経関連症状における内科系疾患の鑑別診断の重要性、乳がん患者のトータルサポートなどに取り組んで来たのです。これら3施設を総合すると女子医大の女性外来受診者数は既に15000件に及んでおり、ここから得られる情報は今後の日本の女性の健康に対する施策に非常に貴重なものになると考えられます。そこで、今回、近未来の女性外来のモデル構築に向けて、これら3施設における患者調査研究を行うこととしました。

調査研究の対象となる方は、2004年9月1日から2016年3月31日までの間に女性生涯健康センター、東医療センター日暮里クリニック、八千代医療センター女性外来を初診した患者全員です。この方たちについて、初診時の年齢、主訴、受診科、診断名、検査結果、医療情報提供書の有無などについて診療カルテを用いて後方視的に調査します。

さらに、全対象の中で2013年4月1日から2014年3月31日の間に初診した方たちについては通院終了までの転帰調査を追加で行います。

被験者となる方たちの秘密保護には十分配慮致します。学会報告や論文発表などを用いて研究の成果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないように致します。なお、本研究への参加を希望されない方はその旨を各施設担当者にお伝えいただければ調査対象から除外させていただきますので以下の担当者にご連絡下さい。

本研究は厚生労働省科学研究費「女性の健康の包括的支援のための情報収集・情報発信と医療提供体制等に関する研究」(主任研究者：藤井知行、分担研究者：加茂登志子)の一環として行うものです。

<研究統括責任者>

東京女子医科大学附属女性生涯健康センター 所長 加茂登志子
〒162-0055 東京都新宿区若松町 9-9 パークホームズ新宿若松町
TEL 03-5363-0723、FAX 03-5363-0802

<問い合わせ・苦情などの相談窓口>

女性生涯健康センター	加茂登志子	03-5363-0723
日暮里クリニック性差医療部女性外来	片井みゆき	03-3805-7771
八千代医療センター女性科外来	地曳紀恵	047-450-6000

平成28年7月5日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある)の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 膠原病患者保存血清におけるループス腎炎バイオマーカーの探索

〔研究機関〕 東京女子医科大学リウマチ科、附属膠原病リウマチ痛風センター

〔研究責任者〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・所長・山中寿

〔研究の目的〕 全身性エリテマトーデス(SLE)に伴う腎炎(ループス腎炎)の診断・鑑別や病態・病勢の指標になるバイオマーカーを見つけ出すことを目的とします。

(註) ある疾病の存在や進行度をその濃度に反映し、血液中に測定されるタンパク質等の物質

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

膠原病の患者さんで、平成16年4月1日から平成28年7月31日の間に膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、罹病期間、疾患名、手術名、診察所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査、病理検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 7 月 1 日

東医療センターにて頭部 MRI 検査を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 圧縮センシング MRI における少数の撮像データからの再構成画像の基礎評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター放射線科

[研究責任者] 上野 恵子 教授、東医療センター放射線科

[研究の目的]

MRI 検査にて少ない撮像データから得られる画像の評価をおこなうため

[研究の方法]

- 対象となる患者さん

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日の間に頭部 MRI 検査をうけた方

- 利用するカルテ情報

MRI 画像

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当医師 上野 恵子

電話 ; 03-3010-1111 FAX ; 03-3984-0282

公開文書

多発性骨髄腫は治癒困難な疾患とされているが、最近の新規薬剤（ボルテゾミブ、サリドマイド、レナリドマイド）の使用と造血幹細胞移植の組み合わせにより、日本人多発性骨髄腫症例でも生存期間の延長が得られていることが報告されております。

多発性骨髄腫のために東京女子医大血液内科にて自家末梢血幹細胞移植を受けられた患者で、骨髄腫細胞にt(4;14), del 17p, t(11;14)の染色体異常が認められた患者の治療と予後因子について、金沢大学を中心に多くの施設のデータをまとめようという

「自家末梢血幹細胞移植を施行した多発性骨髄腫での予後因子解析:染色体異常を含めた2次調査研究」がございます。当科でも研究に協力することとして個人情報を除いて、診療録をもとに行われた治療とその効果、染色体分析結果などのデータを報告します。

患者様への負担や被害、補償はありませんのでよろしくご理解ください。

東京女子医科大学
血液内科 教授
田中 淳司

なにか質問などありましたら

問い合わせ先
東京女子医大
血液内科 講師
吉永 健太郎まで連絡ください。
電話03-3353-8111（代表）内線39961

平成●●年●●月●●日

糖尿病眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 増殖糖尿病網膜症患者における血液透析導入後の硝子体出血発症に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病眼科

[研究責任者] 糖尿病眼科 教授 北野 滋彦

[研究の目的] 血液透析療法が硝子体出血の発症に影響を及ぼすか検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科かかりつけで、1990年1月～2016年7月の間に東京女子医科大学糖尿病センターにて血液透析または腹膜透析を導入された増殖糖尿病網膜症患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、糖尿病病型、糖尿病歴、血糖コントロール、服薬状況、血圧、腎性貧血治療の有無、抗凝固薬の種類、糖尿病網膜症病期、光凝固の既往および施行時期、硝子体出血の既往および発症時期、血管新生緑内障の有無、眼科手術の既往歴、硝子体出血発症後の臨床経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病眼科 担当医師 亀田 裕介

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 8 月 15 日

乳腺内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

多内分泌腺腫瘍症 1 型（MEN 1）における原発性副甲状腺機能亢進症に対する術式による治療成績と再発例の検討

〔研究機関〕

東京女子医科大学病院 外科学第二講座 乳腺・内分泌外科

〔研究責任者〕

東京女子医科大学 外科学第二講座 乳腺・内分泌外科（講座主任） 岡本 高宏

〔研究の目的〕

多発性内分泌腺腫瘍症 1 型における原発性副甲状腺機能亢進症の手術の術式（全摘または亜全摘）の治療成績を探ります

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

多発性内分泌腺腫瘍症 1 型における原発性副甲状腺機能亢進症の患者さんで 1981 年 1 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日までに初回手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 術前術後の生化学的検査（Ca、P、i-PTH）
- ④ 術前の画像検査（US と MIBI シンチ）で確認された副甲状腺腫の状況
- ⑤ 術中の副甲状腺の確認数（腫大腺、正常腺を含む）
- ⑥ 術式
- ⑦ 摘除した副甲状腺の重量
- ⑧ 病理結果
- ⑨ 経過観察期間
- ⑩ 術後の副甲状腺機能低下の有無
- ⑪ 術後カルシウム補充の有無とその期間
- ⑫ 再発（Ca と i-PTH の再上昇）の有無
- ⑬ 再発時期（術後からの期間）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 外科学第二講座 乳腺・内分泌外科

担当医師 堀内喜代美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341

平成 28 年 6 月 23 日

乳腺・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕甲状腺乳頭癌における危険度分類の妥当性と中間群の予後因子に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 外科学第二講座 乳腺・内分泌外科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 外科学第二講座 乳腺・内分泌外科

講座主任 岡本 高宏

〔研究の目的〕 甲状腺乳頭癌のリスク分類別の予後の推測と、中間群（Gray Zone）の中での予後を決定する因子があるかを調べます

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

甲状腺乳頭癌の患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2006 年 12 月 31 日の間に手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 性
- ② 年齢
- ③ 甲状腺乳頭癌の TNM 分類
- ④ 原発巣の大きさ
- ⑤ リンパ節転移の有無
- ⑥ 手術の術式
- ⑦ 病理の検査結果
- ⑧ 遠隔転移の有無
- ⑨ 再発の部位（リンパ節、肺、骨など）
- ⑩ 再発日
- ⑪ 生存の有無
- ⑫ 原病死の有無とその日付
- ⑬ 経過観察期間

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報を利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 第二外科学講座 乳腺・内分泌外科 担当医師 堀内 喜代美

電話 03-3353-8111 内線 36631 FAX 03-5269-7341

平成 28 年 7 月 26 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 潰瘍性大腸炎患者における dysplasia の経過と発癌の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器内科

〔研究責任者〕 徳重克年 消化器内科 教授

〔研究の目的〕

潰瘍性大腸炎関連大腸癌の早期発見・治療に向けて、dysplasia の経過を分析し、その有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎の患者さんで、平成 17 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学に通院または入院され、かつ下部消化管内視鏡検査による生検病理組織検査を複数回施行された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、既往歴、家族歴、罹病期間、臨床症状、身体所見、治療内容、検査結果（血液検査）、画像診断結果（下部消化管内視鏡検査）、手術記録、病理組織結果、外来・入院経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 米沢麻利亜

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 8 月 30 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 非大腸癌肝転移に対する肝切除後の予後因子および切除適応に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 消化器外科 山本雅一

〔研究の目的〕

日本人の非大腸癌肝転移に対する肝切除後の予後因子の解析を行い、切除適応を確立する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 12 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に、当院を含む共同研究機関において RO を目指した肝切除術を受け、かつ病理組織学的に大腸癌を除く転移性肝癌と診断された患者

●利用するカルテ情報

- 肝切除術後無再発生存期間、全生存期間、術後在院日数、術後合併症と発生率、年齢、性別、原発臓器、病理診断、術式、原発巣切除時のリンパ節・遠隔転移の有無、術前・術後補助療法の有無、肝転移巣个数・最大腫瘍径・局在、肝外病変の有無、同時性または異時性肝転移、原発巣切除後の期間など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 植村 修一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

H28 12/31

平成 28 年 8 月 3 日

乳腺・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 甲状腺腫瘍における石灰化の意義についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 乳腺・内分泌外科

〔研究責任者〕 乳腺・内分泌外科 教授・講座主任 岡本 高宏

〔研究の目的〕悪性を示唆する甲状腺の石灰化所見について明らかにする

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

甲状腺腫瘍の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に超音波検査と穿刺吸引細胞診を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 登録番号
- ② 細胞診番号
- ③ 性別
- ④ 年齢
- ⑤ エコー所見
- ⑥ 穿刺吸引細胞診結果
- ⑦ 術式（手術を受けられた患者さんのみ）
- ⑧ 病理組織所見（手術を受けられた患者さんのみ）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 乳腺・内分泌外科 担当医師 尾身葉子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341

平成 28 年 8 月 9 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

〔研究課題名〕 超音波ガイド下鎖骨上窩ブロックにおける使用薬剤の選択ならびに至適量についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

〔研究責任者〕 山中 寿、膠原病リウマチ痛風センター、教授

〔研究の目的〕

上肢、とくに手・肘の手術において、超音波ガイドを用いた鎖骨上窩部ブロックは、その簡便さと有効性からすでに広く用いられています。一方その際に用いられる局所麻酔薬の種類や使用量について、一定の指標はあるものの、ブロック施行医の好みや経験により決定されているのが実情です。鎖骨上窩ブロックを含めた末梢神経ブロックには、局所麻酔中毒を初めとするいくつかの合併症が知られていますが、使用する局所麻酔の種類や量との因果関係は現時点で確立された研究結果の報告はありません。本研究は、超音波ガイド下鎖骨上窩ブロックにおける使用薬剤の選択ならびに至適量について、本学を中心とする複数施設での共同研究を行い、明らかにすることを目的としています。

〔研究の方法〕

(1) データの収集について

2010 年から 2016 年 3 月までに、当院ならびに共同施設で超音波ガイド下鎖骨上窩ブロックのもと、上肢の手術を行った方のデータを、カルテから収集します。各施設において収集されたデータは厳重に匿名化され、本施設に集められます。

(2) 比較及び評価の方法

局所麻酔の種類やその量によって、有効性や合併症の発生頻度を比較し違いがないかどうかを調査します。

(3) 予想される利益・不利益

手術をすでに受けた患者さんについて、特に利益・不利益は生じません。

(4) この試験への参加について

もしこの説明書をお読みになり、ご自分の手術について解析をしてほしくないと思われた場合は、担当医までお知らせください。解析ファイルから、あなたのデータをすべて削除いたします。

(5) 費用および謝礼について

費用の免除及び謝礼金はありません。

(6) この研究は多施設研究であり、関連する企業等の資金提供や開示すべき利益相反はありません。

[個人情報の取り扱い]

この調査で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際には慎重に配慮し、患者さん個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合、また何か分からないことや心配なことがある場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 中山 政憲

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 7 月 1 日

新生児医学科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 頭部 MRI 画像で白質病変を呈した新生児の臨床像についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院母子総合医療センター新生児医学科

【研究責任者】 楠田 聡 母子総合医療センター新生児医学科 教授

【研究の目的】

当院の新生児医学科へ入院した児において、頭部 MRI 画像で白質病変を示した新生児の臨床的な特徴を明らかにすることで、今後の診療の向上に繋げる

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当院 NICU へ入院した患者さんで、平成 21 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に頭部 MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

生年月日、母体情報、性別、診断名、在胎週数、出生体重、出生時状況、生体情報、治療内容、検査結果（血液検査、超音波検査、MRI 検査）、退院後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院母子総合医療センター新生児医学科

担当医師 今井 憲

電話 03-3353-8111・・・ FAX 03-5269-7668・・・

平成28年8月12日

糖尿病・内分泌代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 1型糖尿病合併妊娠にともなう甲状腺機能、甲状腺自己抗体の実態調査

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

[研究責任者] 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

教授 橋本尚武

[研究の目的]

1型糖尿病合併妊娠症例における甲状腺機能、自己抗体の変動の検討

[研究の方法]

●対象となる患者さん

外来通院中の1型糖尿病患者さんで、2008年12月1日から2016年3月31日の間に血液検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、罹病期間、治療内容、血液検査、自己血糖測定記録、網膜症の有無、腎症の有無、甲状腺機能、甲状腺自己抗体、

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

担当医師 橋本尚武

電話 047-450-6000

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に通院・入院されているの
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「デタミナーL TGⅡ、デタミナーL TCⅡの改良パラメータの高トリグリセライド、高コレステロール検体への有用性の評価の検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院 中央検査部 検体検査室

[研究責任者] 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

[研究の目的]

医師から依頼された検査項目、「トリグリセライド」、「総コレステロール」を機械で試薬を使って測定する際に反応過程(反応曲線)が得られます。何らかの理由で反応が異常の際に、設定によって見つけることができるか、新しく改良された「デタミナーL TGⅡ」の設定を用いて検討します。この研究は、協和メデックス株式会社と共同研究として行います。

[研究の方法]

●対象となる検査項目と反応過程

東京女子医科大学病院に通院または入院し、倫理委員会承認後から平成30年3月31日の間に臨床検査として「トリグリセライド、総コレステロール」の依頼のあった患者さんの測定後の反応過程を利用します。

●利用するカルテ情報

測定時の反応過程のみを解析いたしますので、カルテ情報は用いません

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7469

平成 28 年 9 月 1 日

乳腺診療部に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Stage I ～ⅢA乳癌切除症例における臨床病理学的因子の測定研究
(N・SAS-BC 01/CUBC 測定研究)

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター乳腺診療部

[研究責任者] 清水 忠夫 東医療センター乳腺診療部 診療部長

[研究の目的]

患者さんのサブタイプ別(ホルモン感受性や HER2 発現状況による分類)にみた UFT の
効果を調べるため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳がんの患者さんで、平成 8 年 10 月 1 日から平成 13 年 4 月 30 日の間に NSASBC01
の研究用の手術検体の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術検体（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、TNM、ステージ、エストロゲンレセプター、
プロゲステロンレセプター、組織型、リンパ節転移個数、転帰、再発の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除
します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で
きる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以
下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター乳腺診療部

担当医師 平野 明

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-5493

平成 28 年 8 月 19 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肺動脈閉鎖、心室中隔欠損症、主要体肺動脈側副血行路症例に対する肺動脈統合術を用いた二期的手術の遠隔成績

【研究機関】 東京女子医科大学病院心臓血管外科

【研究責任者】 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

【研究の目的】

外科的介入を施行した肺動脈閉鎖、心室中隔欠損症、主要体肺動脈側副血行路患者の経過と現在の状態を調査し、長期間にわたる本疾患の病態を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1982 年から 2014 年の間に外科的介入を施行した肺動脈閉鎖、心室中隔欠損症、主要体肺動脈側副血行路患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）、再手術状況、現在の内服治療状況

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科

担当医師 坂本貴彦

電話 03-3353-8111・ FAX 03-3356-0441

平成 28 年 9 月 5 日

高血圧・内分泌内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

「原発性アルドステロン症に関連する検査結果や患者要因と治療効果の関連の解明」

[研究機関] 東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

[研究責任者] 市原 淳弘 高血圧・内分泌内科 教授・講座主任

[研究の目的]

原発性アルドステロン症における診断と負荷試験等の各種検査結果がどのように関連するかを解析することで、より効率よく精度の高い診断手法を明らかにする。また、負荷試験や副腎静脈サンプリング等の検査結果および体格などの患者要因と、手術やミネラルコルチコイド受容体拮抗薬による治療後の変化を解析することで、どのような場合にどの程度の治療効果が得られるかを明らかにし、治療選択の補助とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 12 年 1 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日の間に原発性アルドステロン症の疑いで入院精査を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 臨床所見〔年齢、性別、身長、体重、血圧、病歴に関する情報（服薬歴、既往歴、家族歴、喫煙歴、飲酒歴）〕
- ② 血液所見（腎機能、電解質、尿酸、血漿アルドステロン濃度、血漿レニン活性、PTH）
- ③ 24 時間蓄尿・随時尿所見（電解質、アルブミン、タンパク、アルドステロン、クレアチニン、コルチゾール）
- ④ 負荷試験所見（カプトリル負荷試験、生理食塩水負荷試験、立位・ラシックス負荷試験、迅速 ACTH 負荷試験）
- ⑤ 副腎静脈サンプリング所見（ACTH 負荷前後の血漿アルドステロン濃度、コルチゾール）
- ⑥ 病理学的所見
- ⑦ 術前後の投与薬剤（降圧薬、カリウム製剤、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬）
- ⑧ 治療反応性

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

担当医師 谷田部 緑

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7327

平成 28 年 9 月 1 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 C 型肝炎ウイルス感染に対する DAA 製剤による治療前後の耐糖能評価の後方視的臨床研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 徳重 克年 東京女子医科大学 消化器内科 教授

【研究の目的】

DAA 製剤による C 型肝炎（HCV）治療前後での血糖関連マーカーの変化を評価し、HCV 感染と耐糖能異常の因果関係を明らかにする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日の間に DAA 製剤による HCV 治療を行った方

●利用するカルテ情報

1) 患者背景

年齢（歳）、性別、体重（kg）、身長（cm）

罹患期間

糖尿病有無および治療薬の種類

2) 血液・生化学検査

血算（白血球数、赤血球数、血小板数）

空腹時血糖（mg/dl）、空腹時インスリン μ U/ml、C ペプチド（ng/ml）、HbA1c

AST、ALT、 γ -GTP、総ビリルビン、総蛋白、アルブミン

総コレステロール、LDL-コレステロール（mg/dl）、HDL-コレステロール（mg/dl）、中性脂肪（mg/dl）、クレアチニン（mg/dl）、eGFR、プロトロンビン活性、AFP、PIVKA-II

3) 治療経過

DAA 製剤治療中の血糖降下剤の投与開始・終了または増量・減量

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 小木曾智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

H30 12/31

平成 28 年 7 月 21 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 乳児の虐待による頭部外傷の疫学的発生率の把握

[研究機関] 東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科

[研究責任者] 高梨 潤一 教授

[研究の目的]

国内における乳児の頭部外傷(AHT: Abusive Head Trauma)／揺さぶられ症候群(SBS: Shaken Baby Syndrome)の疫学的研究による発生率を把握するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳児の頭部外傷(AHT: Abusive Head Trauma)／揺さぶられ症候群(SBS: Shaken Baby Syndrome)の患者さんで、2011年1月1日から2015年12月31日の間に入院治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、家族背景、来院時所見（意識状態、痙攣の有無、頭部外表または他の皮膚所見、骨折の有無、眼底出血の有無）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科

担当医師 白戸 由理

電話 047-450-6000

平成 28 年 9 月 15 日

東京女子医科大学 腎臓病総合医療センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 移植腎生検検体における C1q 沈着の意義の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 腎臓小児科

[研究責任者] 服部元史 腎臓小児科 教授

[研究の目的]

移植腎臓糸球体へ C1q が沈着した場合の、臨床上の意義の検討

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学腎臓病総合医療センターで、平成 14 年 1 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日の間に、移植腎生検を受けた方で、糸球体に C1q の沈着を確認した方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見（身長・体重・血圧）、腎臓原疾患名、自己腎病理所見、腎臓移植時年齢、腎生検回数、移植腎病理所見、検査結果（血液検査、尿検査）、治療薬。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 三浦健一郎

電話 03-3353-8111 FAX Fax 03-3356-0293

平成 28 年 8 月 10 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当科では、以下の臨床研究に協力しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 先天性筋強直性ジストロフィーの全国調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院小児科

〔研究責任者〕 永田智 小児科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

筋強直性ジストロフィーは、筋強直現象（ミオトニア）、多臓器障害、進行性の筋力低下を呈す遺伝性疾患です。先天性筋強直性筋ジストロフィーは、95%の患児が筋強直性ジストロフィーに罹患しているお母さまから生まれるとされており、出生時から呼吸障害や筋力低下、筋緊張低下を呈するなど、筋強直性ジストロフィーの症状や臨床経過とは異なります。先天性筋強直性ジストロフィーの患者さんの出生時には、胎児と母体の双方の要因が合わさることで、しばしばハイリスク分娩となることがわかっております。しかし、筋強直性ジストロフィーの病型と重症度の個人差が大きいことから、軽症なお母さまは、妊娠・出産まで自身の病気に気付いていないことがあり、対応が遅れることが少なくありません。

私たちは、この研究により、全国規模で先天性筋強直性ジストロフィーの発生頻度、患者数を調査するとともに、患者さんとそのお母さまの診断時期、お母さまの周産期の合併症、患者さんの合併症などの実態を把握し、これからの患者さんやお母さまの安全な妊娠・出産、その後の円滑な医療的支援に何が必要かを検討しています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

先天性筋強直性ジストロフィーの患者さんとお母さま

●利用するカルテ情報

診断名、移行時の年齢、患者さんのお母さまの妊娠中・出産時の合併症、患者さんの在胎中・出生時・出生後の合併症や経過など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 七字 美延

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

平成 28 年 8 月 10 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 先天性筋強直性ジストロフィーの全国調査（2次調査）

【研究機関】 東京女子医科大学病院小児科

【研究責任者】 永田智 小児科 教授・講座主任

【研究の目的】

筋強直性ジストロフィーは、筋強直現象（ミオトニア）、多臓器障害、進行性の筋力低下を呈す遺伝性疾患です。先天性筋強直性筋ジストロフィーは、95%の患児が筋強直性ジストロフィーに罹患しているお母さまから生まれるとされており、出生時から呼吸障害や筋力低下、筋緊張低下を呈するなど、筋強直性ジストロフィーの症状や臨床経過とは異なります。先天性筋強直性ジストロフィーの患者さんの出生時には、胎児と母体の双方の要因が合わさることで、しばしばハイリスク分娩となることがわかっております。しかし、筋強直性ジストロフィーの病型と重症度の個人差が大きいことから、軽症なお母さまは、妊娠・出産まで自身の病気に気付いていないことがあり、対応が遅れることが少なくありません。

私たちは、全国規模で先天性筋強直性ジストロフィーの発生頻度、患者数を調査するとともに、患者さんとそのお母さまの診断時期、お母さまの周産期の合併症、患者さんの合併症などの実態を把握し、これからの患者さんやお母さまの安全な妊娠・出産、その後の円滑な医療的支援に何が必要かを検討しています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

先天性筋強直性ジストロフィーの患者さんとお母さま

●利用するカルテ情報

診断名、移行時の年齢、患者さんのお母さまの妊娠中・出産時の合併症、患者さんの在胎中・出生時・出生後の合併症や経過など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 七字 美延

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

平成 28 年 8 月 30 日

救命救急センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 DPC データと全国救急蘇生統計とのリンクによるデータベース構築に関するフイージビリティ研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院救命救急センター

【研究責任者】 山口直人 衛生学公衆衛生学第二講座 教授・講座主任

【研究の目的】 DPC（診断群包括分類）に基づく診療情報のデータと総務省消防庁の全国救急蘇生統計とをリンクさせたデータベース構築が可能かどうか検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

院外心停止の患者さんで、平成 17 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に入院した方

●利用するカルテ情報

患者 ID、主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名、入院時併存症名、入院日、性別、入院時年齢

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二講座 担当者 清原康介

電話 03-3353-8111(内線 22121) FAX 03-5269-7420

平成 28 年 8 月 10 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「da Vinci サージカルシステム (DVSS) による腎部分切除術を
じんぶぶんせつじょじゅつ
受けた腎腫瘍患者を対象とした後ろ向き大規模観察研究」
じんしゅようかんじゃ

[研究機関] 東京女子医科大学病院泌尿器科

[研究責任者] 教授 田邊 一成

[研究の目的]

da Vinci サージカルシステムを使用した腎部分切除術後の腎機能や癌制御を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

腎がんの患者さんで、2011 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に da Vinci サージカルシステムを使用した腎部分切除術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

【患者さんの情報】

生年月日、性別、ASA スコア（術前の患者さんの状態を示す数字）と時間、腎臓の状態、既往歴と合併症、腫瘍の部位、数、大きさ、位置、RENAL nephrometry スコア（手術前に手術の難易度を予測した数字）、手術日、総手術時間、出血量、輸血量、開腹手術や腹腔鏡手術への移行の有無、腎摘（手術時に腫瘍の切除ができず腎臓を摘出せざるを得なかったかどうか）、術後経口摂取／歩行開始日、入院期間、病理診断結果（腫瘍の種類（良性・悪性）。悪性の場合は癌の種類、癌が取り切れたかどうか）、手術中と手術後の合併症（手術が原因で別の病気が起きていないか）、腎機能（術前と術後 36 ヶ月までの血清クレアチニン、尿タンパクの値）、腫瘍が悪性であった場合の再発や転移の有無、予後（再発した後の病気の状態）、最終診察日

【手術時の情報】

腎臓へのアプローチの方法、腎動脈／腎静脈の阻血方法（手術時に腎臓の血液の流れを遮断
そけつ しやだん

したときの方法)、無阻血の場合の切除断端処理法(腎臓の血液の流れを遮断しなかった場合に切除した部分をどのように処理したか)、Early declampingの有無(腎動脈の血液の流れを遮断したあと、できるだけ早く、血液の遮断を解除すること)、冷却(手術時に腎臓を冷やしたかどうか)、尿管カテーテルの有無、コンソール時間、ロボット支援手術の範囲、腎杯開放/縫合、腎縫合、切除部補填(補填材を用いた場合の方法)、補填材の種類

【機器に関する情報】

適応、DVSSの種類、DVSSのロボットアーム数、アシスタントのトロッカー数、ナビゲーションシステムの有無、ナビゲーションシステムの種類、DVSSの不具合発生の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 9 月 1 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における足潰瘍の発症、増悪に関与する危険因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

[研究責任者] 東京女子医科大学 第三内科学 教授 内潟 安子

[研究の目的] 糖尿病患者を対象とし、足潰瘍の発症、増悪に関与する危険因子を検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 28 年 7 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日の間に当科フットケア外来に通院歴がある糖尿病患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学検査、手術記録）、糖尿病、糖尿病網膜症、末梢動脈疾患、下肢切断などの治療経過、足の変形、足の関節可動域

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科

担当医師 井倉 和紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成28年9月2日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 完全大血管転位症に対する心房スイッチ手術の遠隔成績

【研究機関】 東京女子医科大学病院心臓血管外科

【研究責任者】 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

【研究の目的】

完全大血管転位症に対する心房スイッチ手術の経過と現在の状態を調査し、長期間にわたる本疾患の病態を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1966年から2015年の間に完全大血管転位症に対して心房スイッチ手術を施行した患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）、再手術状況、現在の内服治療状況

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 坂本貴彦

電話 03-3353-8111・ FAX 03-3356-0441

平成 28 年 7 月 12 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における高齢者自己免疫性肝炎の検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター消化器内科

【研究責任者】 東京女子医科大学八千代医療センター消化器内科 准教授 西野隆義

【研究の目的】 当院における高齢者自己免疫性肝炎の特徴を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

自己免疫性肝炎の患者さんで、平成 18 年 12 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日の間に自己免疫性肝炎の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、生活歴（アルコールやタバコの摂取歴）、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療法、経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター消化器内科

担当医師 戸張真紀

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 28 年 8 月 22 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 難治性潰瘍性大腸炎に対する粘膜治癒を目指した治療戦略

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 徳重克年 消化器内科 教授

【研究の目的】

難治性潰瘍性大腸炎に対する大腸内視鏡検査の粘膜治癒の重要性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2009年1月から2016年2月までにTACで寛解導入しTAC終了時に大腸内視鏡(CS)が施行された38症例を対象とした。

●利用するカルテ情報

患者基本情報 治療前の背景因子(性別, 発症年齢, 罹患範囲, 罹患期間, TAC投与前CAI (Lichtiger score), 採血データ, 寛解までのPSL総量, 入院期間, TAC投与日数, トラフ達成までの期間, TAC投与前内視鏡スコアMayo, UCEIS), 300日後, 500日後, 1000日後の再燃率

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 伊藤亜由美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 8 月 10 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「透析患者と非透析患者に対する腹腔鏡下根治的腎摘除術の周術期成績の比較」

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 教授 田邊 一成

【研究の目的】

末期腎不全患者に発生する腎癌の原因検索

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎がんの患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に腹腔鏡下根治的腎摘除術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、腫瘍径、臨床病期、病理結果、症状の有無、腫瘍個数、身長、体重
- ②手術時間、出血量、周術期合併症、術後在院日数、開腹手術への変更

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 9 月 20 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 2 心室を有する Fontan 術後患者における心室間同期不全と、心機能および予後に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 循環器小児科 准教授 朴仁三

【研究の目的】

心臓 MRI によって得られた心室同期不全が患者さんに与える影響を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

Fontan 術後の患者さんで、心室を 2 室有しており、平成 19 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に心臓 MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、既往手術内容、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓 MRI 検査、心臓カテーテル検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 高橋辰徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 09 月 29 日

整形外科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 生体腎移植患者における骨粗鬆症に対するデノスマブの有効性・安全性の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院整形外科

【研究責任者】 村田 泰章 東京女子医大整形外科 診療部長

【研究の目的】 骨粗鬆症に対するデノスマブ(商品名プラリア)は保険適応の薬剤で、臨床に広く用いられていますが、腎移植患者における骨粗鬆症に対する有効性の報告はほとんどありません。今回生体腎移植患者における骨粗鬆症に対してデノスマブを使用した患者様の採血結果や骨密度を調べることで、その有効性を検討するのが目的です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2013年04月から2016年08月までの間に東京女子医科大学で生体腎移植手術を施行した患者様で、両大腿骨近位部の骨密度をDXA法にて評価し、YAM値が70以下(骨粗鬆症)のかた。

●利用するカルテ情報

採血データ、移植時年齢、骨密度、ステロイド使用量

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院整形外科 担当医師 大鶴 任彦
電話 03-3353-8111 FAX 03-3354-7360

H29 12/21

平成 28 年 9 月 6 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 児童虐待リスク因子の評価と順位付け

【研究機関】 東京女子医科大学病院小児科

【研究責任者】 東京女子医科大八千代医療センター小児科 高梨 潤一

【研究の目的】

児童虐待に関わるリスク因子を解析し、ハイリスク群に支援を行うことで児童虐待の減少を目的とする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に当院「子ども安全委員会」の介入となった患者様とその家族

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、家庭環境等

●データの取扱い

集められたデータは個人の特特定ができない処理をした後、帝京大学公衆衛生大学院で統計解析を実施。その結果は、研究者の修士論文に使用予定。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学八千代医療センター小児科

担当医師 藤森 誠

電話 047-450-6000 FAX 047-458-6545

H29 12/31

平成 28 年 8 月 29 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対するCytoreductive nephrectomy治療後において、術前AST/ALT(De Ritis ratio)は有用な予後予測因子であるか。

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

転移性腎癌に対して、手術による腎臓摘出術は生命予後を改善するといわれており、標準的な治療法である。この場合の腎臓摘出術を Cytoreductive nephrectomy と呼び、癌細胞を減少させる、という意味を持つ。一方、一般的な血液検査による AST、ALT という検査が存在する。これらは主に肝機能を表す検査であるが、この AST/ALT 比は De Ritis ratio とも言われ、様々な疾患の予後予測因子として注目されている。その一つに、限局性腎癌(転移を有さない腎癌)に対する腎臓摘出術の予後予測因子としての有用性を示した研究がある。そこで今回、我々は転移性腎癌に対する腎臓摘出術後(Cytoreductive nephrectomy)の予後予測因子として、AST/ALT(De Ritis ratio)が有用であるかどうかを今回、検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2003年1月1日から2015年12月31日の間にCytoreductive nephrectomy をうけた方

●利用するカルテ情報

Cytoreductive nephrectomy 時の年齢、性別、MSKCC risk(転移性腎癌の予後予測に用いられる)、転移臓器の数、血清 CRP 値、血清 AST/ALT 値(De Ritis ratio)、病期、癌異型度、Cytoreductive nephrectomy 後の全生存期間(治療開始後からあらゆる原因で死亡するまでの期間)、癌特異的生存期間(治療開始後から癌死するまでの期間)。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報を利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321